



大阪ガスグループ 新中期計画(2014-2016)  
**Catalyze Our Dreams**

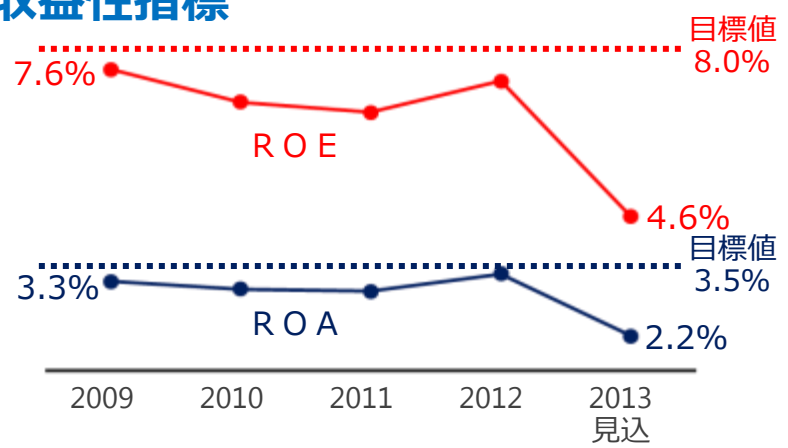


**2014年3月13日**  
**大阪ガス株式会社**

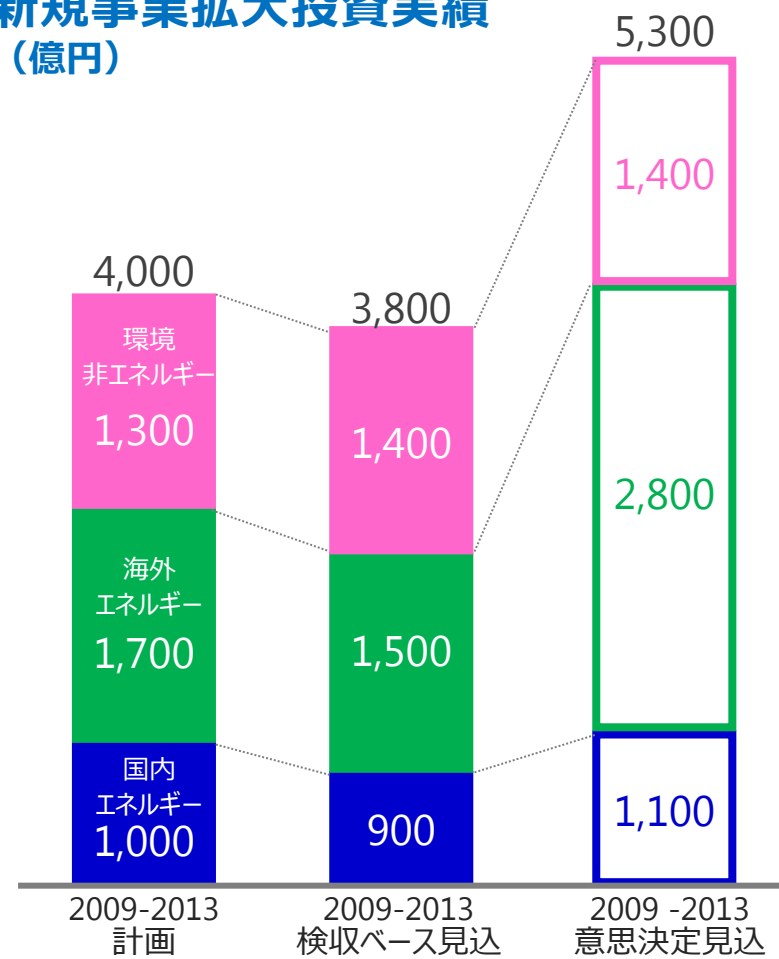
# Field of Dreams 2020

## 第1フェーズ（2009-2013）のレビュー

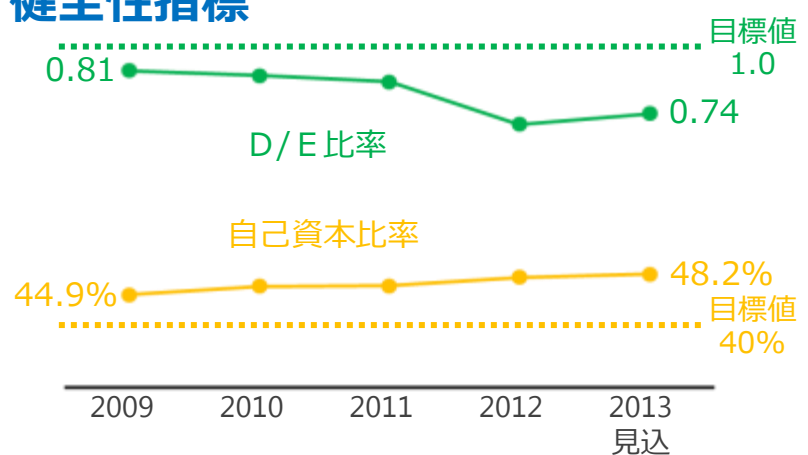
### 収益性指標



### 新規事業拡大投資実績 (億円)



### 健全性指標



# Field of Dreams 2020

## 第1フェーズ (2009-2013) のレビュー

### 国内エネルギー事業

泉北発電所  
(電力事業の安定運営)



高圧幹線の延伸  
(三重-滋賀/姫路-岡山)



家庭用燃料電池  
「エネファーム」発売



累計販売台数 2.3万台

### 海外エネルギー事業

豪州・太平洋地域における  
上流開発プロジェクト参画  
(ゴゴン[豪]・イクシス[豪]・パプアニューギニア)



米国フリーポート  
液化プロジェクト参画



写真提供：Freeport LNG Development L.P.

シンガポール・タイで  
天然ガス販売事業  
エネルギーサービス事業  
開始

### 環境・非エネルギー事業

Jacobi Carbons  
(スウェーデン活性炭事業会社)  
買収



都市開発事業における  
優良資産の積み増し

国内外における  
風力・太陽光発電の  
規模拡大

英国水道事業参画

# 大阪ガスグループがめざす姿

グループの強みを活かして積極的に事業領域を拡大し、多様な事業がワールドクラスに進化することでお客さまや社会を元気にする企業グループとなることをめざす。

## 国内・海外 エネルギー 事業

80<sup>※</sup>

事業規模比率  
(2020年度)

20

## ライフ&ビジネス ソリューション 事業

天然ガス（都市ガス・LNG）・電力・LPG等、幅広いエネルギーと、高品質な保安・技術・サービスのご提供を通じてお客さまや社会のエネルギーに関する多様なご要望にお応えしていく。



エネルギー事業で培った技術や事業ノウハウを最大限に活用し、お客さまや社会に快適、便利、健康を実現するソリューションをご提供する。



※国内・海外エネルギー事業の内訳 国内：海外 = 50：30

# Catalyze Our Dreams の考え方

(長期経営ビジョン、中期経営計画)

「Field of Dreams 2020」でめざしている方向性

- ①ビジネスフィールドの拡大
- ②強靱な事業ポートフォリオの確立

東日本大震災、電力・ガスシステム改革、シェールガス革命、等

「めざす姿」の実現に向けた取り組みを加速し、  
競争を勝ち抜く実力を身に付ける

- 電力・ガスシステム改革を見据え、総合エネルギー事業に進化する。
- グループとしての成長を継続していくため、電力、海外エネルギー、材料ソリューション等、今後の成長が期待される領域を中心に積極的な事業拡大に挑戦していく。

これまでに取り組んできた案件を  
収益に繋げる。

新たな取り組みにチャレンジする。

# Catalyze Our Dreams における 重点テーマ

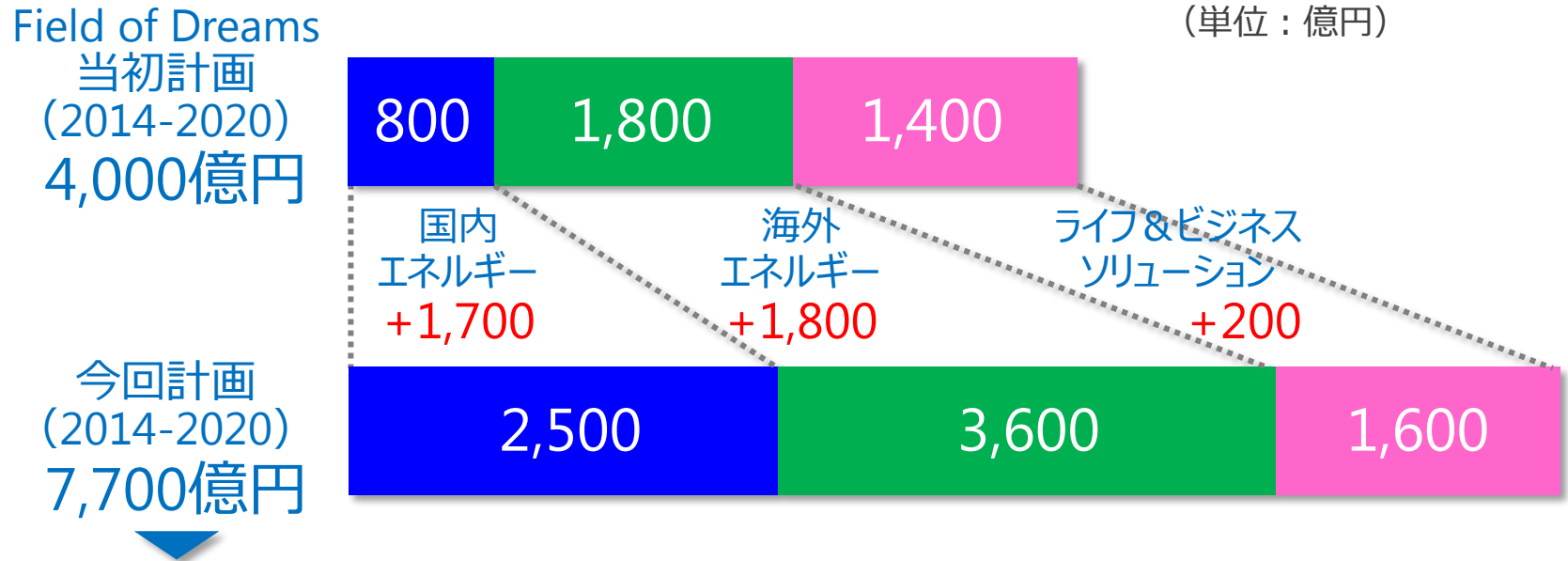
## ① 近畿圏エネルギー事業の強化

## ② エネルギー事業の エリア拡大



## ③ 次なる「事業の柱」の確立

# 新規事業拡大投資 (2014-2020)



Field of Dreams 2020 当初計画より**3,700億円増額**し、  
 あわせて**長期経営目標**を一部見直す。

(主な長期経営目標)		今回目標	Field of Dreams 2020 当初目標
収益性指標	ROA (2020年度)	4.5%	4.0%
健全性指標	D/E比率	0.7程度	1.0程度
株主還元	連結配当性向	30%以上 (変更なし)	30%以上

【参考】今回想定資産規模 (2020) : 約2.2兆円

【参考】既存事業品質向上投資 (2014-2020) : 3,600億円



# 安定的・経済的な天然ガス調達と アップストリーム事業の推進

調達 LNG の多様性・柔軟性を高め、  
拡大する需要に対応することで  
安定供給と原料価格の低廉化を実現

自社生産関与比率： (2020) 約30%

(その他の取り組み)  
米国産 LPG の導入

アップストリーム案件の推進  
参画済案件の着実な推進と  
リスクを踏まえた新規案件への参画

- 参画済案件 (主な参画済プロジェクト)
  - ・ゴゴン LNG プロジェクト (豪)
  - ・イクシス LNG プロジェクト (豪)
  - ・パプアニューギニアコンデンセートプロジェクト

フリーポート液化プロジェクト  
2018年の出荷開始に向け、  
パートナーとの緊密な連携の下、事業を推進



写真提供：Freeport LNG Development L.P.



# ガス & 電力 + ソリューションによる 総合エネルギー事業への進化

エネルギーとソリューションを組み合わせ、  
お客さまのエネルギーを中心とした多様なご要望にお応えしていく。



LPG  
産業ガス



LNG



ガス

&



電力

+

快適・便利

省エネルギー

エネルギー  
セキュリティ

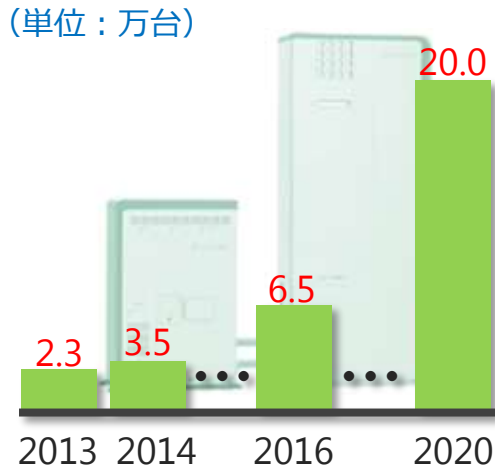
安心・安全



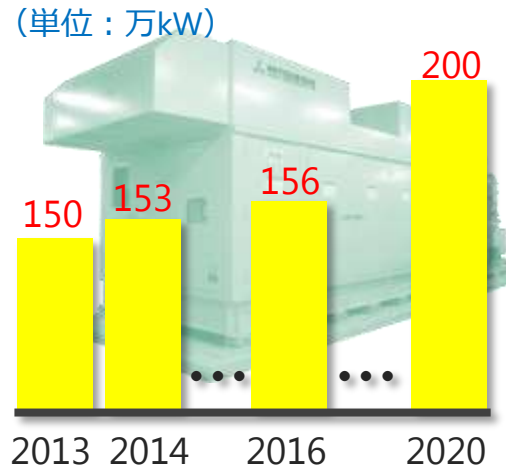
# 分散型エネルギーシステムの普及と 天然ガスの利用拡大

2020年

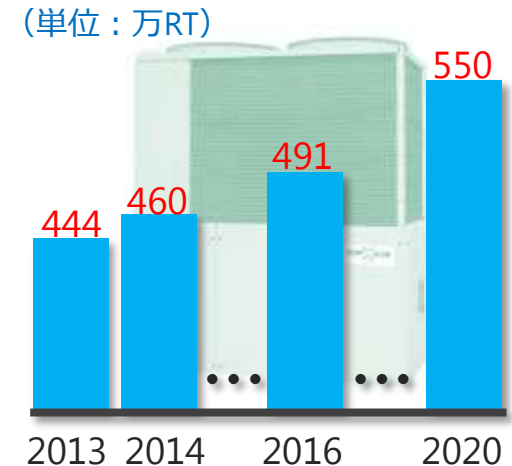
(累計販売台数)  
エネファーム  
**20万台**



(累計設置容量)  
コージェネレーション  
**200万kW**



(累積出荷ベース)  
ガス冷暖房  
**550万RT**

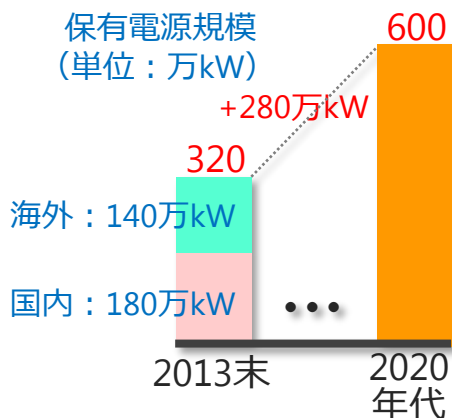


技術開発により高効率化、小型化、低価格化を進め、  
お客さまの省エネルギー、エネルギーセキュリティ向上、電力需要に貢献

# 電力事業の全国展開

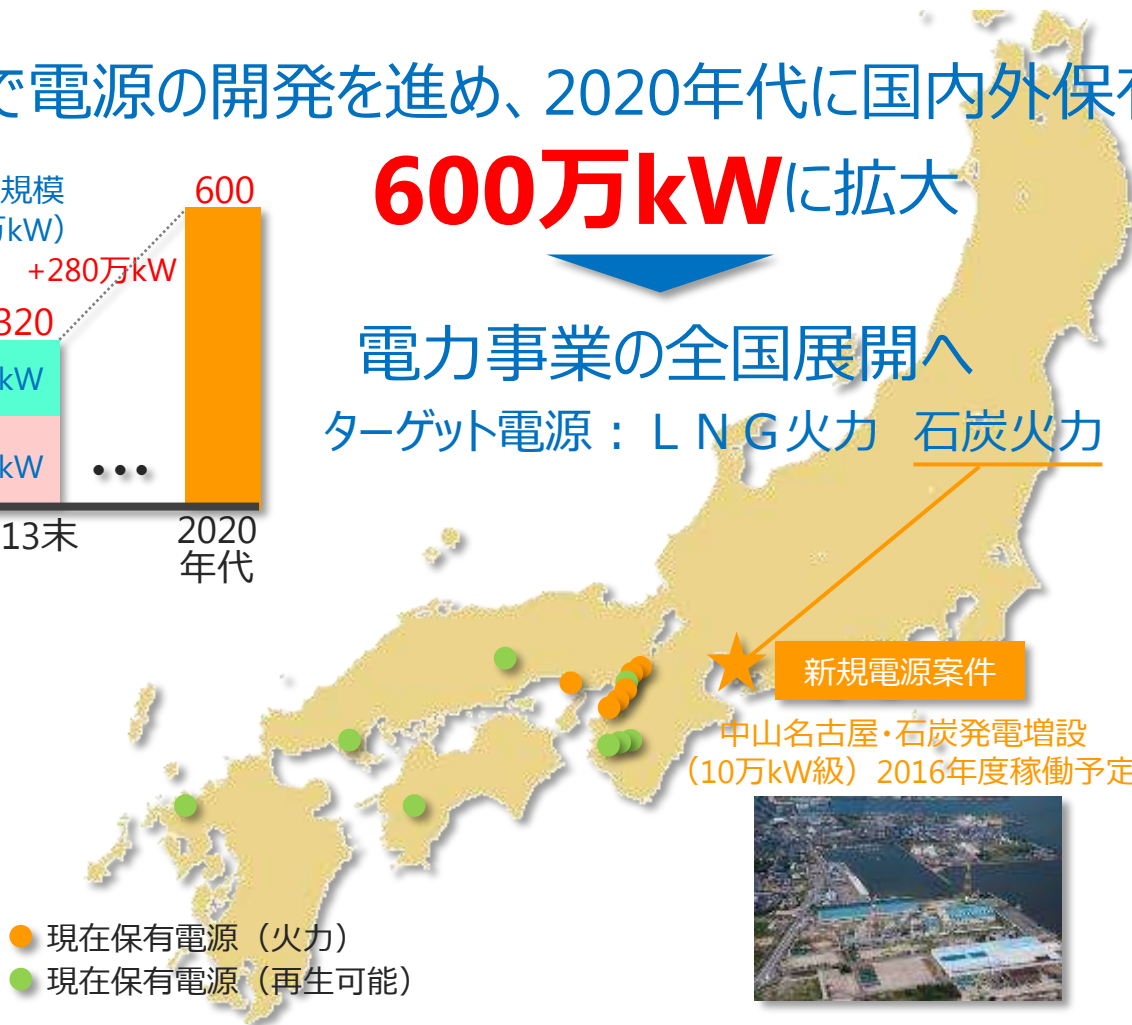
全国で電源の開発を進め、2020年代に国内外保有電源規模を

**600万kW**に拡大



電力事業の全国展開へ

ターゲット電源: LNG火力 石炭火力 再生可能エネルギー



# 広域エネルギー事業の推進

各地域のエネルギー事業者と連携し、  
L N G・L P Gの供給と保有技術の活用により、  
お客さまのご要望に応じたエネルギーソリューションを提供

● L N G卸販売先

岡山ガス様 (供給中)

四国ガス様 (供給中)

静岡ガス様  
(2014年度より供給開始予定)

日本ガス様 (供給中)

沖縄電力様  
(供給中)

姫路－岡山ライン沿線の  
需要開発を推進

# 海外ダウンストリーム事業の拡大



北米をはじめ、世界各地において事業への参画を検討

# 製造・供給基盤の強靱化と 保安・防災水準の高度化

## 製造・供給基盤の強靱化

製造・供給能力の強化と  
次世代を見据えた維持管理を推進

### 製造・供給体制の強靱化



泉北製造所  
第1工場5号タンク



高圧幹線工事

姫路・岡山ライン  
(2014.4開通予定)

姫路製造所

泉北製造所  
(第1・第2)

(高圧幹線ネットワーク)

## 保安・防災水準の高度化

沿岸防災ブロック構築等の防災対策、  
緊急対応水準の維持向上を推進

### 復旧日数目標※

南海トラフ大地震 (Lv1津波) : 2週間

※被害軽微地区が対象

三重・滋賀ライン  
(2014.1開通)

中部電力様  
四日市火力発電所

### 保安・防災対策



ガス導管の  
耐震化対策



24時間体制での  
緊急対応



# 成長市場での積極的な挑戦 (材料ソリューション)

大阪ガスケミカルグループ各社の強みを活かして、  
グループ売上高1,000億円へ



大阪ガスケミカルグループ  
OSAKA GAS CHEMICALS GROUP

取扱商品  
ラインナップ



ファイン材料



活性炭



保存剤



炭素繊維材料



生活環境材料



製造技術の移植による  
新製品開発・業務品質向上



Jacobi



JChem  
日本エンバイロケミカルズ



流通・販売体制の相互活用による  
効率化



Jacobi

JChem  
日本エンバイロケミカルズ



# 成長市場での積極的な挑戦 (情報ソリューション・都市開発・ライフサービス)



 オージス総研

情報ソリューション事業

技術と実績を活かしてクラウドサービス事業を拡大



大阪ガス都市開発

都市開発事業

好立地（関西・首都圏）、高品質物件を開発



株式会社  
オージスポーツ  COIPA  
Comfortable Sports Space

ライフサービス事業

ヘルスケアサービス事業等を通じ、心身の健康をサポート

# 技術による ソリューション&イノベーション

お客さまへの最適なソリューションと次世代に向けたイノベーションの  
実現に向け、コア技術を積極的に活用

## 天然ガスの利用拡大に向けた 技術開発

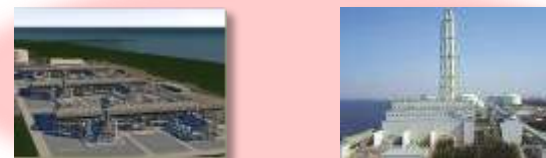


家庭用燃料電池  
(エネファーム)  
高効率化・小型化

燃焼技術を活かした  
オーダーメイド  
エンジニアリング

ICTによる  
ガス機器の  
スマート化

## エンジニアリング技術の活用による プロジェクト推進

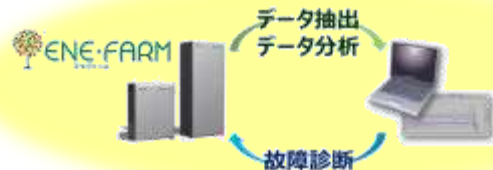


資源開発・ガス液化  
エンジニアリング

発電  
エンジニアリング

写真提供：Freeport LNG Development L.P.

## データアナリシスによる 付加価値向上



蓄積データの活用による  
機器故障予測とサービス向上

## 環境分野における技術開発



水素製造装置  
(HYSERVE)  
低価格化・高効率化

バイオマス資源化

生ごみバイオガス化  
装置

# 大阪ガスグループ ダイバーシティ推進方針

めざす姿を実現するために、  
グループ内に多様な価値観・発想を取り込む

性別、年齢、障がい、国籍、雇用形態等に関わらず、  
多様な人材が尊重しあい、やりがいを感じられる  
企業グループを実現する。

誰もが活躍できる基盤として、生産性の高い働き方を推進し、  
ワークライフバランスを追求する。

端緒として、女性が、より一層活躍する環境の整備、風土の醸成を進め、以下を実現する。

- 新卒総合職採用における女性比率の向上（30%以上）
- 女性管理職比率の引き上げ（5%以上）
- 女性役員の登用

# 大阪ガスグループ CSR活動の推進

事業領域の拡大に対応し、CSRのグローバル化を推進

(大阪ガスグループCSR憲章に基づく活動)

共通	バリューチェーン全体での活動を推進
憲章Ⅰ お客さま価値の創造	お客さまと社会とのニーズにお応えする製品・サービスの提供
憲章Ⅱ 環境との調和と持続可能な社会への貢献	環境負荷軽減の追求と、低炭素社会実現への貢献
憲章Ⅲ 社会とのコミュニケーションと社会貢献	地域社会との対話の重視と、社会貢献の推進
憲章Ⅳ コンプライアンスの推進と人権の尊重	海外事業の拡大にあわせたグローバルコンプライアンス推進
憲章Ⅴ 人間成長をめざした企業経営	多様な人材による能力発揮と、従業員の成長

# 目標とする経営指標

		今回設定目標		Field of Dreams 2020 当初目標
		2016	2020	2020
収益性指標	ROA	3.5%	4.5%	4.0%
	ROE	8.0%	9.0%	9.0%
健全性指標	D/E比率	0.7程度		1.0程度
	自己資本比率	50%以上		40%以上
株主還元	配当性向	30%以上※		30%以上※

※短期的な利益変動要因を除く

自社株取得については投資の状況や財務状況等を総合的に勘案し、機動的に実施する。

# 想定投資規模

		今回計画		Field of Dreams 2020 当初計画
		2014-2016	2009-2020	2009-2020
(単位：億円)				
既存事業品質向上投資		1,600	6,000	7,000
新規事業拡大投資		3,400	11,500	8,000
エネルギー事業	国内	800	3,500	1,800
	海外	1,800	5,200	3,500
ライフ&ビジネスソリューション事業		800	2,800	2,700
投資額合計		5,000	17,500	15,000

# エネルギー取扱量

	(単位：億m <sup>3</sup> )	2013見込	2014	2015	2016	2020
<b>連結ガス販売量</b>		85.3	84.8	86.5	87.9	91.0
家庭用（個別）		22.0	22.1	22.0	22.0	21.7
商・公・医用（個別）		15.2	14.6	14.7	14.8	14.7
工業用（個別）		43.2	43.0	43.7	45.0	48.3
他エネルギー事業者向け等		4.9	5.1	6.1	6.1	6.3
	(単位：万戸)					
<b>お客さま数（個別）</b>		713	716	720	724	737
	(単位：億kWh)					
<b>国内電力販売量</b>		83.2	84.2	75.0	78.9	120.0



# 2014年度収支計画

	グループ連結			大阪ガス個別		
	2013年度見込 (億円)	2014年度計画 (億円)	増減率 (%)	2013年度見込 (億円)	2014年度計画 (億円)	増減率 (%)
売上高	15,045	16,055	+6.7%	11,935	12,865	+7.8%
営業利益	990	995	+0.5%	590	620	+5.1%
経常利益	1,000	1,000	±0.0%	650	675	+3.8%
当期純利益	355	655	---	210	485	---

ROA	2.2%	3.8%	---	1.7%	3.7%	---
ROE	4.6%	8.2%	---	3.6%	8.1%	---

前提：原油価格（JCC）110ドル/バレル、為替レート105円/ドル

原油価格と為替レートの変動による経常利益への感度

原油価格1ドル/バレル	±12億円	為替レート1円/ドル	±14億円
-------------	-------	------------	-------

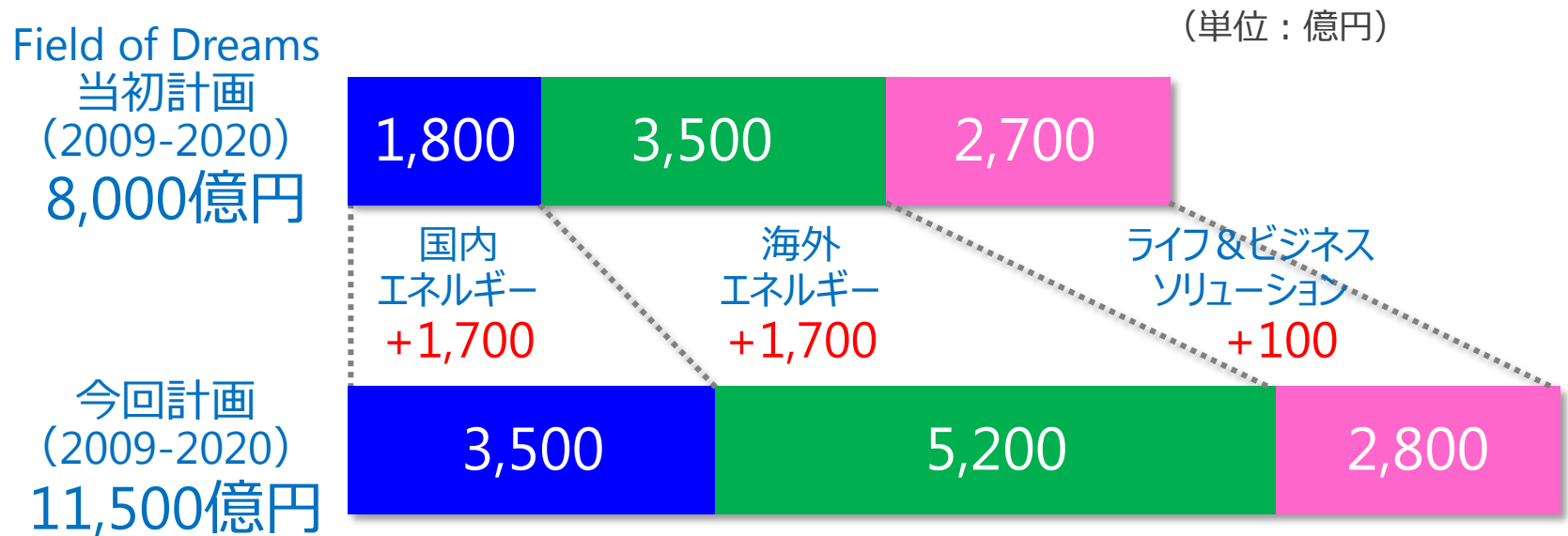


### 「見通し」に関する注意事項

本資料には、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

# 新規事業拡大投資 (2009-2020)



# 売上高 資産額

	(単位：億円)	今回計画		Field of Dreams 2020 当初計画	
		2013見込	2016	2020	2020
連結売上高		15,045	16,900	20,900	20,000
連結総資産		16,277	19,300	21,800	21,000

今回計画前提：原油価格（JCC）110ドル/バレル、為替レート105円/ドル  
 Field of Dreams 2020当初計画前提：原油価格（JCC）100ドル/バレル、為替レート100円/ドル